

## 保護者の皆様

学園前ネオポリス幼稚園  
園長 島田 信裕

## 保護者アンケートの結果について（報告）

いよいよ、令和2年度も残すところあとわずかとなりました。年長の子たちはあと2日余りで卒園。年中・年少の子たちの登園もあと1週間あまりになりました。保護者の皆様にはコロナ禍の今年、急な変更などがあっても関わらず、園のため、子どもたちのためにご支援・ご協力を賜りありがとうございました。

先月ご協力いただきました「保護者アンケート」の結果をご報告いたします。このアンケートをもとに、本園の益々の発展のため、また、子どもたちにとって過ごしやすい園作りのために取り組んでまいりたいと考えています。

<保護者アンケート> Aよくあてはまる Bあてはまる Cあてはまらない (%)

内 容	A	B	C	無回答
1 幼稚園は、たより(園・クラス)やクラス懇談会、ホームページを通じて園のようすをわかりやすく伝えている。	56.7	35.0	7.5	0.8
2 幼稚園は、基本的な生活習慣が身につく保育に力を入れている。	60.0	39.2	0	0.8
3 幼稚園は、心を豊かにする保育に努めている。	45.8	50.8	2.5	0.8
4 幼稚園は、子どもが安全に、安心して生活が送れるよう努めている。	50.8	44.2	4.2	0.8
5 教職員は、保護者との連携をきめ細かく行い、思いに応えようとしている。	45.8	46.7	6.7	0.8
6 子どもは、体育を楽しみにしている。	84.2	14.2	0.8	0.8
7 子どもは、英会話を楽しみにしている。	73.3	23.3	2.5	0.8
8 子どもは、様々な行事を楽しみにしている。	85.0	11.7	0.8	2.5
・楽しかった行事（遠足、運動会、こま回し、なわとび・こま回し記録会、まめまき、にこにこ会、エビカニクス体操、作品展、クリスマス会、誕生会、生活発表会の練習、お祭り、子どもの森の遠足、参観日 など）				
9 子どもは、幼稚園を楽しんでいる。	80.0	16.7	2.5	0.8
・どんなことが楽しいと言っていますか？（外遊び、体育、英語、お絵かき、にこにこグループ、製作、お友だちとの遊び、日々の生活、ブロック遊び、お部屋遊び、発表会の練習、先生、粘土、クラス、歌、絵本、バイオリン、達成感 など）				
10 「縦割り活動」（にこにこグループ）についてお伺いします。	56.7	40.0	2.5	0.8
・子どもは、にこにこグループでの活動を楽しんでいる。	56.7	40.0	2.5	0.8
（年長の方のみ）バイオリンは子どもにとって良い経験になった。	78.7	19.1	2.1	0

四捨五入するため合計に誤差が生じます。そのため、ABCの合計は必ず100%にはなりません。

## &lt;考察に当たって&gt;

本年度はコロナ禍ではありましたが保護者アンケートを実施しました。休園期間があったり、様々な制約があったりと、例年とは違った形での保育をしなければいけなかったため、何かとご不便をおかけした1年でした。例年とは違ったそんな中でのアンケートですので、様々なご意見がおありのことと思います。それらの意見にも傾聴しつつ、園としての特色を出しながら、より多くの方のご意見を伺う姿勢は大切にしたいと考えています。今回の保護者アンケートだけでなく、園へのご意見やご感想がありましたら、遠慮なくお寄せください。よろしく願いいたします。

## <考察>

どの項目についても A と B を合計すると概ね 90%以上の方々から肯定的な評価をいただくことができました。しかし、A だけで 90%に近づけることを目標に、B 評価をいただいている方々から A 評価をいただけるよう、来年度からの園の運営について考えていかなければいけないと思っております。

1 幼稚園は、たより(園・クラス) やクラス懇談会、ホームページを通じてようすをわかりやすく伝えている。

コロナ禍で、なかなか子どもたちの園でのようすをご覧いただく機会が少なかったため、今年度はホームページの更新に努めました。また、園だより、クラスだよりを毎月1回発行することにより、園からのお願いやクラスの様子についての情報をお伝えしていました。しかし、C 評価が 7.5%とどの項目より多くあります。なお一層、園から発信する情報の内容を充実させていかなければいけないと考えています。

2 幼稚園は、基本的な生活習慣が身につく保育に力を入れている。

挨拶や返事をきちんとする、静かに話を聞く、約束を守るなど、基本的な生活習慣は、小学校での学びの基礎として非常に重要になると考えます。引き続き、これらのことに重視し、発達段階を踏まえながら、更に取り組を充実させていきたいと考えています。ご家庭のご協力もよろしくお願いいたします。



3 幼稚園は、心を豊かにする保育に努めている。

この項目では B 評価が A 評価を上回っています。心を豊かにするという、とらえることが難しい概念ではありますが、本園の教育目標にも「心身ともにたくましく、知・徳・体の調和のとれた、感性豊かな子どもの育成」と、「感性豊かな子ども」を育てることを目標としています。日々の保育活動全般を通して、また、縦割り活動の「にこにこグループ」での取り組を通して、目には見えることだけでなく、五感を働かせてイメージを広げられる、感性豊かな子に育つよう、取り組んでいきたいと考えています。

4 幼稚園は、子どもが安全に、安心して生活が送れるよう努めている。

安全、安心な園生活は子どもたちがゆったりとした気持ちで活動に取り組める最低条件だと考えます。そのために思いやりの気持ちをもって友だちと接したり、仲間に励まされたりしながら、安心できるクラスの中で日々の生活を送ることを目指していきます。また、施設面では今年度、園庭の築山の改修をしました。トイレの洋式化も春休み中に修了します。今後も施設面の充実に努めてまいります。



5 教職員は、保護者との連携をきめ細かく行い、思いに応えようとしている。

この項目の評価については、個々の教員にとって日々の保護者の方との接し方が現れてきます。A 評価が 45.8%、B 評価が 46.7%と B 評価が A 評価を若干上回っています。また、C 評価が 6.7%と多いです。この結果を真摯に受け止め、保護者の方がお子さんについてどのような願いや思いをお持ちかを受け止め、共に考えていくことが出来る関係作りをしなればいけないと考えます。様々な機会を通して情報の共有をしていきたいと思っております。どんなことでもお気軽にご相談ください。

6 子どもは、体育を楽しみにしている。

各学年の発達段階を考慮した体育指導年間計画に沿って、指導を進めています。興味・関心や個々の能力により、差が出やすい体育ではありますが、どの子どもにとっても楽しく体力作りに取り組めるようにと、今後も継続して指導を進めていきます。



7 子どもは、英語を楽しみにしている。

奈良市の市立小学校では、1・2年生で年間10時間の外国語科に取り組んでいます。小学校での外国語科にスムーズにつなげられるようにと、本園では週1回の英語の時間を設けています。週1回ではありますが、幼児期から外国語や異文化に触れる経験や耳から入ってくる英語は、将来子どもたちにとって必ず実になるものと考えています。



8 子どもは、様々な行事を楽しみにしている。

コロナ禍で、数多くの行事が中止、縮小になりました。多くの子どもたちが行事の楽しさを味わうことが難しい1年になりました。「子どもは行事を通して育つ」とよく言われています。行事に取り組む中で、その目標に対する力をつけていくことはもちろんですが、それと共に友だちと取り組む中で他者の思いを感じ、寄り添い、励まし合いながら共によりよいものを作り上げようという気持ちが育ちます。発達段階に応じたそういう行事への取り組みができるよう、行事の実施方法について検討し、できるだけ多くの行事ができ、行事を通した子どもの育成ができるよう取り組んでまいります。

9 子どもは、幼稚園を楽しんでいる。

この項目はA評価が80.0%と子どもたちが園で楽しかったことを家庭で話し、保護者の方がお子さんは幼稚園で楽しんでいると感じていらっしゃるようです。ますます楽しい園になるようにするにはどうすればよいか、引き続き追求していかなければいけないと考えます。



10 子どもは、にこにこグループでの活動を楽しんでいる。

本園の特色ある取組として大切にしている、やさしさや思いやりを育む、縦割り活動の「にこにこグループ」の活動ですが、毎年実施していたおにぎり会は今年度実施できず、朝の会での体操やにこにこ会での関わり、子どもの森への遠足、園内お別れ会など、例年に比べて少ない機会しかありませんでした。にこにこグループでの活動は少なかったですが、外遊びの時に年長の子が下学年の同じグループの子に声をかけたり、一緒に遊んだりしている光景を見かけます。そういうところからも優しく人と接することや、思いやりの気持ちを育んで行ければと考えています。

(年長の方のみにお伺いしました)

11 バイオリンは子どもにとって良い経験になった。

バイオリンに接するという機会はなかなかありません。バイオリンについては高度な技術を必要とする部分があり、全ての子が必ず美しい音を奏でることが難しいことは承知しています。しかし、どの子もバイオリンを弾いて音符に近い音を出すことは出来ます。この取組を通して少し困難なことに取り組み、それを克服できた喜びや達成感を味わうことは、今後、子どもたちが様々な困難に屈することなく、挑戦しようとする気持ちにつながると思っています。そこで、本園の特色ある取組の一つとして実施しています。今後も年長ではバイオリンの取組を継続していく予定です。ご理解いただきますよう、よろしくお願いいたします。



以上、保護者アンケートに対する考察や意見を述べさせていただきました。今年度は2か月間の休園から始まり、6月からの開園と通常より短い10ヶ月しかなかった1年でした。また、行事が少なく、実施できても形を変えたり縮小したりと、子どもたちにとって楽しい思い出が少ない1年になりました。今後は子どもたちが「今日も幼稚園に来てよかった。」「こんなことが出来るようになった。」と思って毎日降園できることを追求していかなければいけないと思っています。どの子にとっても過ごしやすい、どの子にとっても楽しい、どの子にとっても明日も幼稚園で楽しいことがあると期待させる、そのような園を目指して取組を進めていきます。



保護者の方々からの引き続きのご理解、ご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。